

アベノミクスのこれまでの成果

平成29年1月25日

内閣府

20年近く続いたデフレ状況を転換 雇用・所得、収益を中心に経済の好循環が拡大

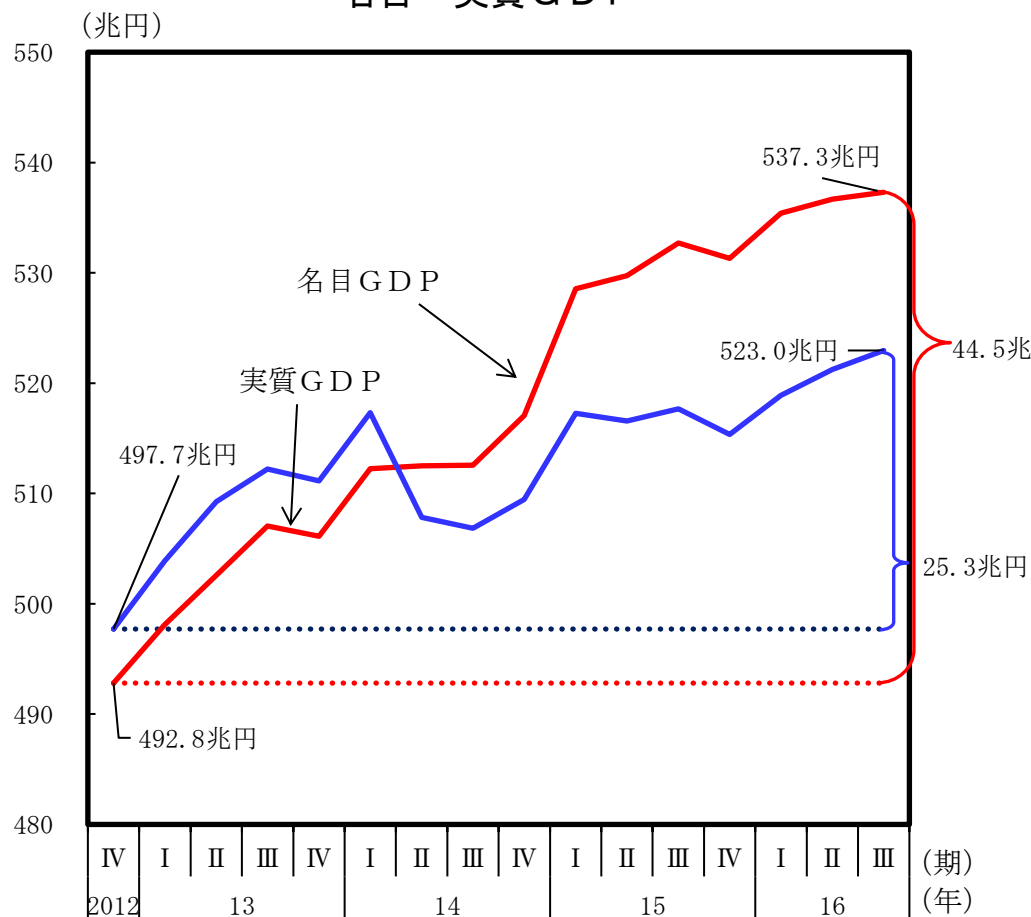
1. 経済再生・デフレ脱却に向けて	1	8. 生活・就業への満足度	9
2. 雇用環境	3	9. 少子化・子育て	10
3. 所得環境	4	10. 若者の就業	11
4. 企業収益	5	11. 女性の就業	12
5. 中小企業の経営環境	6	12. 高齢者の就業と健康	13
6. 観光	7	13. 地域経済	14
7. 財政健全化	8		

1. 経済再生・デフレ脱却に向けて①

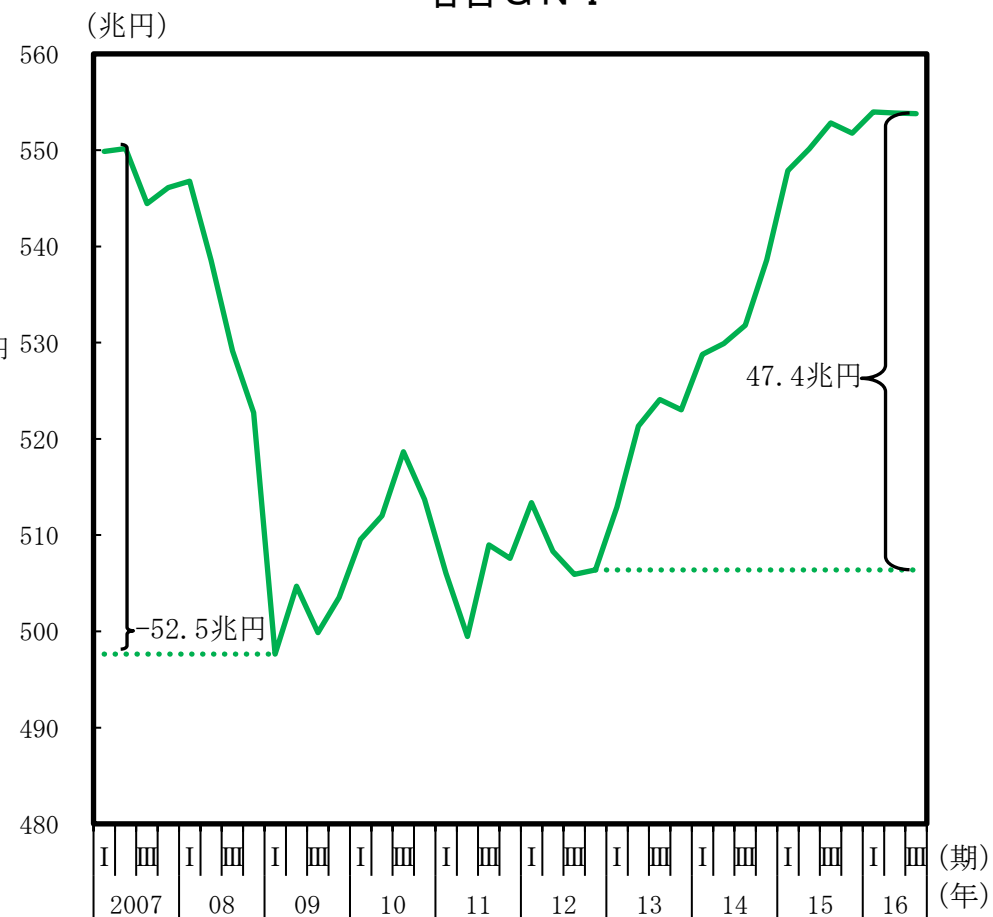
○2012年10－12月期から2016年7－9月期で、
名目GDPは約44兆円、実質GDPは約25兆円増加し、
既往最高水準となった。

○国民総所得（GNI：海外での稼ぎ等も含めた我が国全体の所得）
をみると、リーマンショックで約50兆円を失ったが、
2012年10－12月期以降、約47兆円回復。

名目・実質GDP



名目GNI



(備考) 内閣府「国民経済計算」により作成。

1. 経済再生・デフレ脱却に向けて②

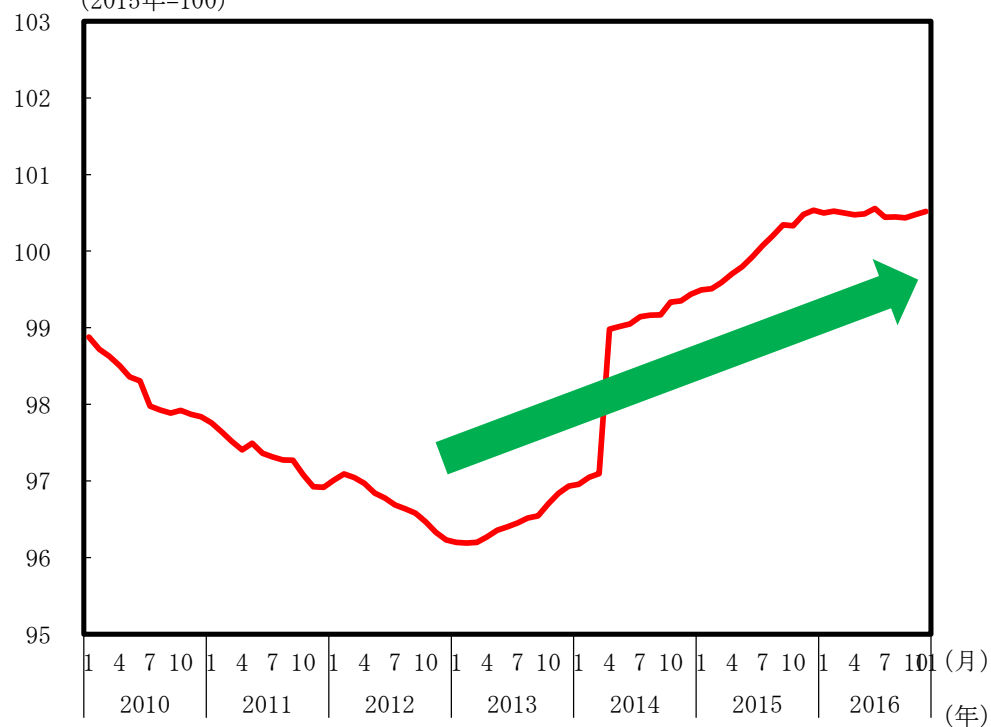
○物価関連指標をみると20年近く続いたデフレ状況を転換。
消費者物価は2013年10月以来前年比プラスに転じ、
その後はプラス傾向で推移。

○2015年度は、1995年度以降で初めて名目GDP・実質GDP・GDPデフレーターの前年比がいずれもプラスとなり、経済再生・デフレ脱却の姿に近づいた。
○2016年度も引き続きいずれもプラスになる見込み。

消費者物価

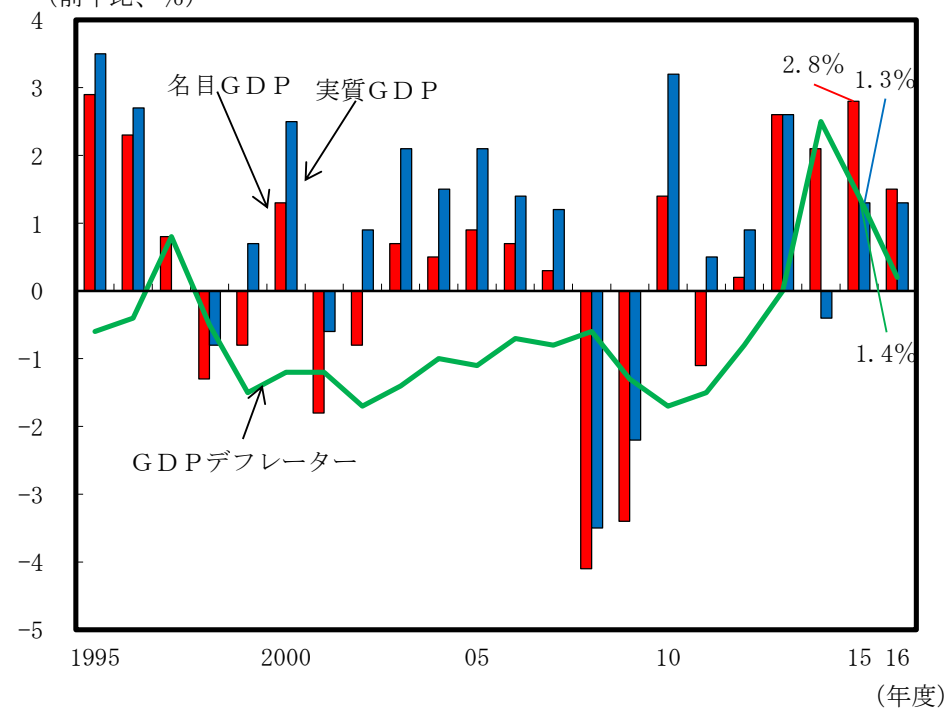
(生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合)

(2015年=100)



名目GDP・実質GDP・GDPデフレーター

(前年比、%)

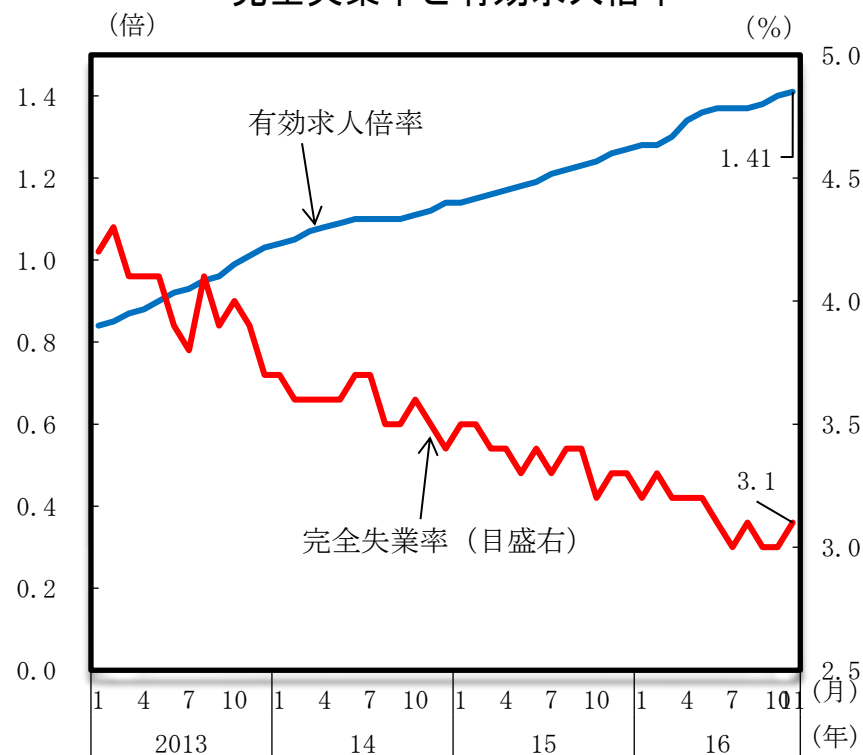


2. 雇用環境

○有効求人倍率は1.41倍と25年4か月ぶりの高水準。
失業率は3.1%と約21年ぶりの低い水準で推移。

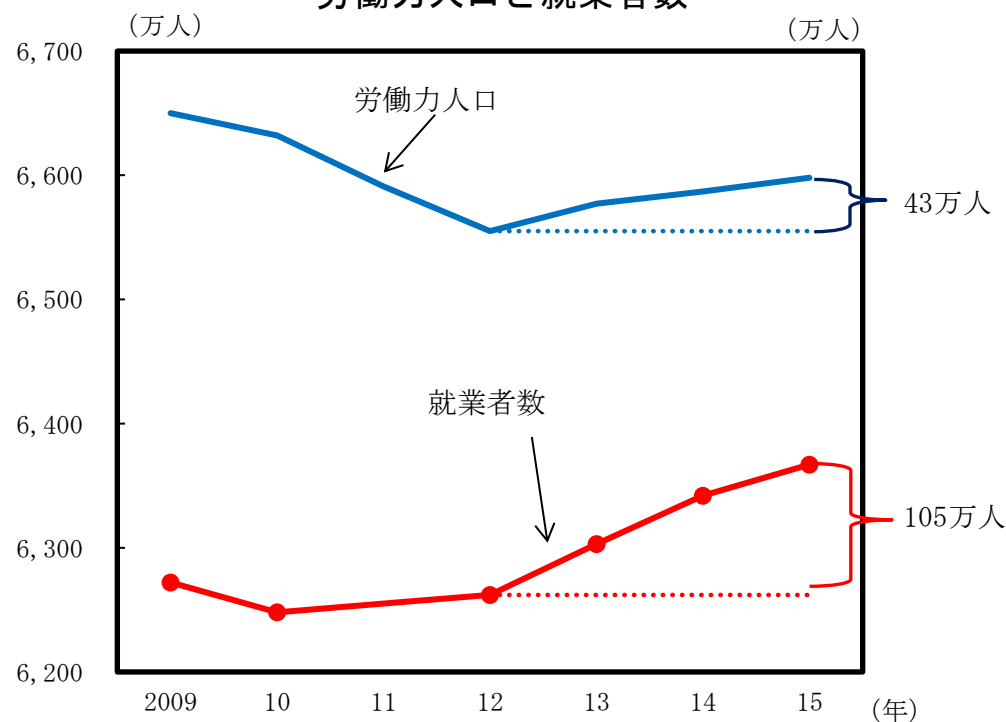
○生産年齢人口（15～64歳）が大きく減少する中、
安倍内閣発足以降、女性・高齢者等の労働参加の
拡大により、労働力人口が増加に転じた。
○就業者数も110万人近く増加。

完全失業率と有効求人倍率



(備考) 厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省「労働力調査」により作成。季節調整値。

労働力人口と就業者数



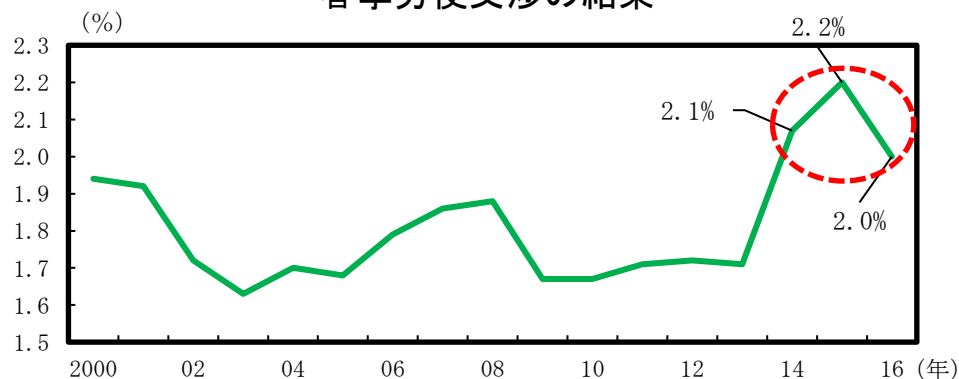
(備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計・詳細集計）」により作成。
2. 2011年の就業者数については、東日本大震災のため、東北3県の調査ができなかったため、2010年と2012年の平均をとっている。
3. 破線は、2012年の値。

3. 所得環境

- 賃上げは3年連続で2%以上。
- 賞与は、夏季・冬季ともに、2013年以降、4年連続で増加。

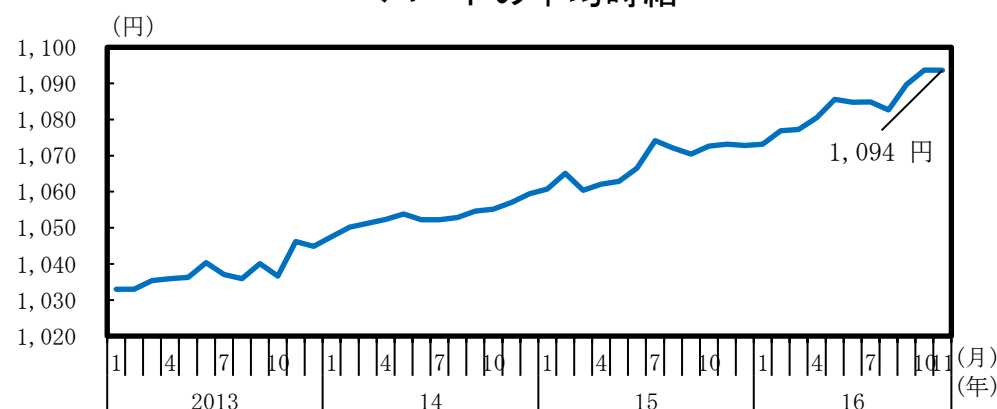
- パートの平均時給も過去最高水準に上昇。
- 最低賃金を4年連続で大幅引上げ。

春季労使交渉の結果



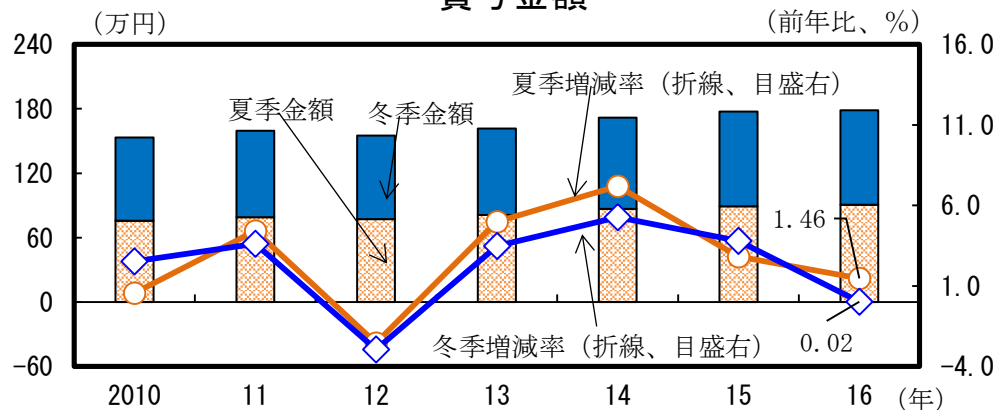
(備考) 日本労働組合総連合会公表資料より作成。

パートの平均時給



(備考) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」により作成。季節調整値。

賞与金額



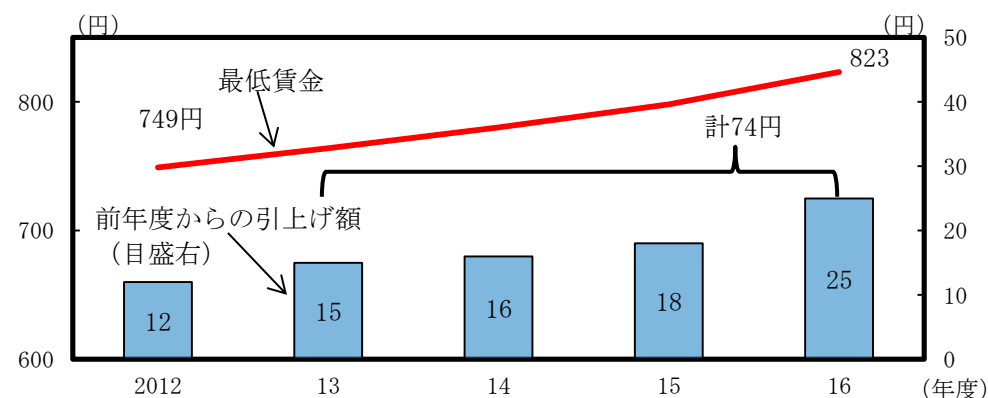
(備考) 1. 日本経済団体連合会公表資料により作成。

2. 調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要20業種大手245社。

3. 増減率は、単に最終集計の加重平均値を比較したもの。

4. 各年・各季で、集計企業は異なる。集計金額は、組合員1人あたりの加重平均。

最低賃金 (全国平均)



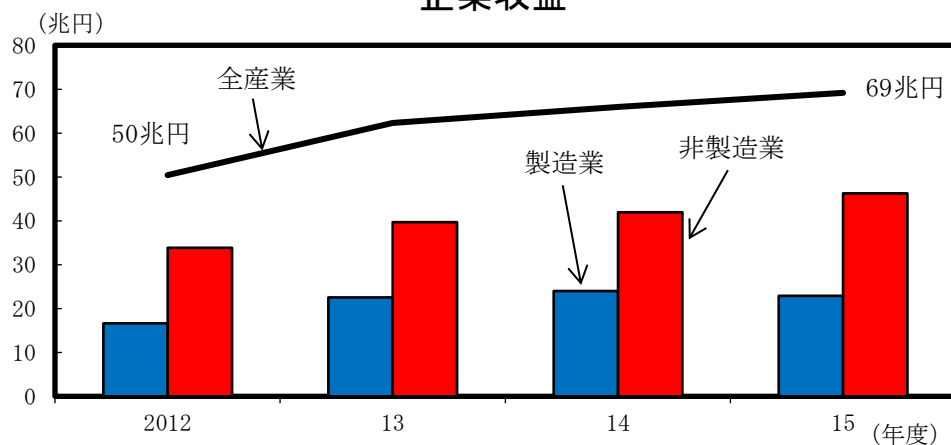
(備考) 厚生労働省地方最低賃金審議会公表資料より作成。

4. 企業収益・設備投資

- 企業収益は過去最高水準。
- 法人実効税率は37%であったところ、2016年度以降、20%台に引下げ。

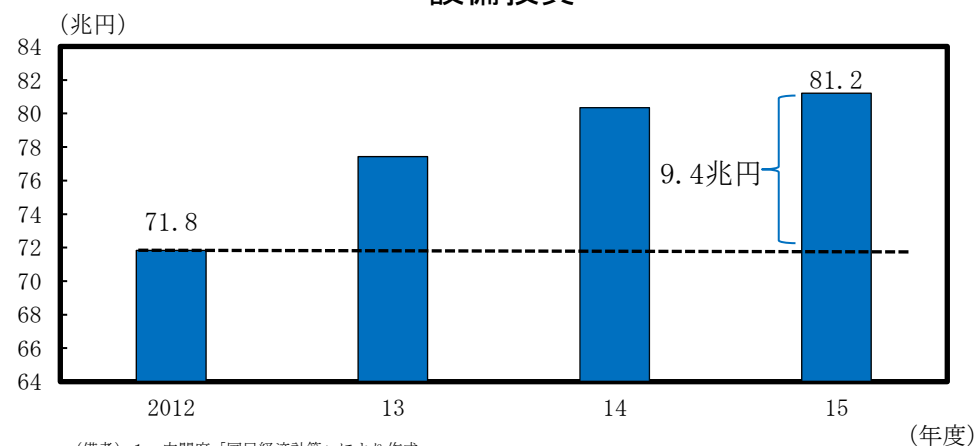
- 設備投資は3年間で9.4兆円増加。
- 企業の研究開発投資も増加傾向。

企業収益



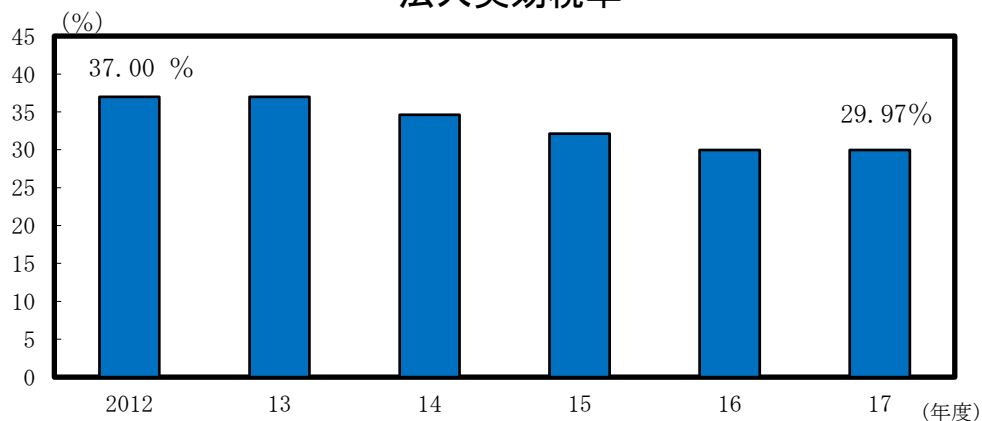
(備考) 財務省「法人企業統計季報」により作成。各四半期のデータを積み上げて計算している。

設備投資



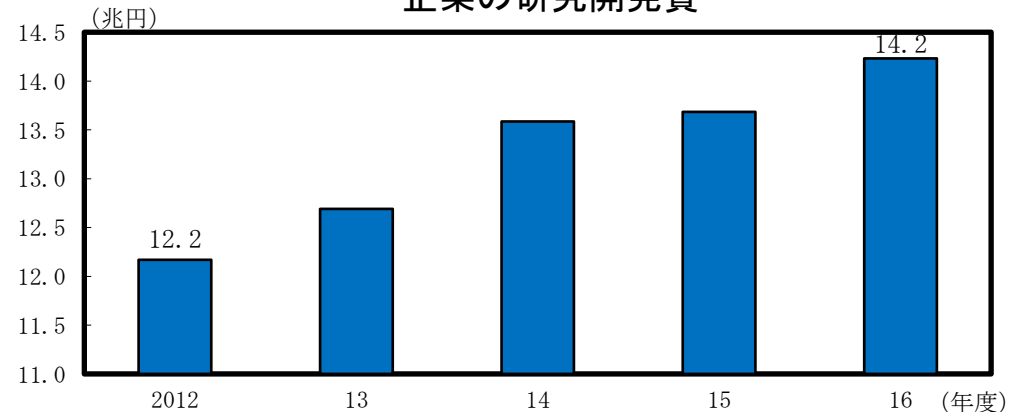
(備考) 1. 内閣府「国民経済計算」により作成。

法人実効税率



(備考) 財務省「税制改正大綱」により作成。

企業の研究開発費



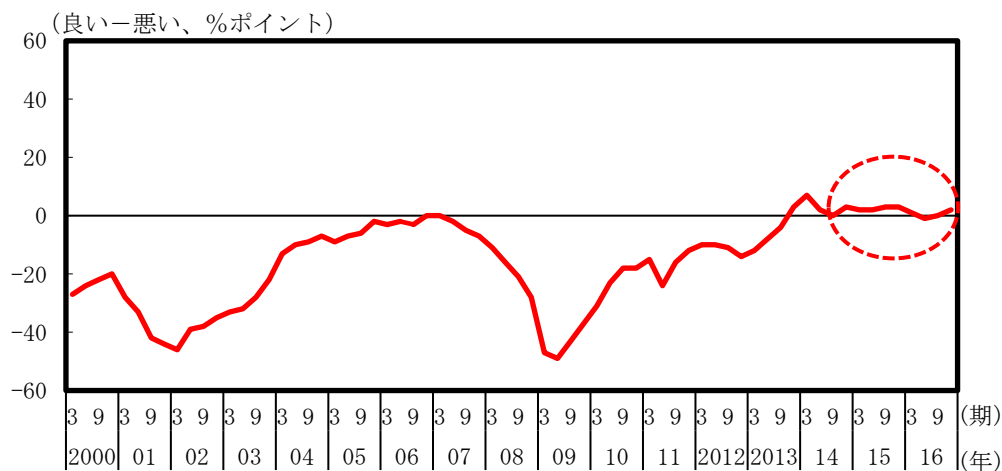
(備考) 1. 総務省統計局「平成28年科学技術研究調査報告」、日本政策投資銀行「設備投資計画調査」により作成。
2. 2015年度までは単体ベース。2016年度の研究費は、日本政策投資銀行「設備投資計画調査」の連結研究開発費（大企業）の16年度計画値の前年度比を使用して延長。

5. 中小企業の経営環境

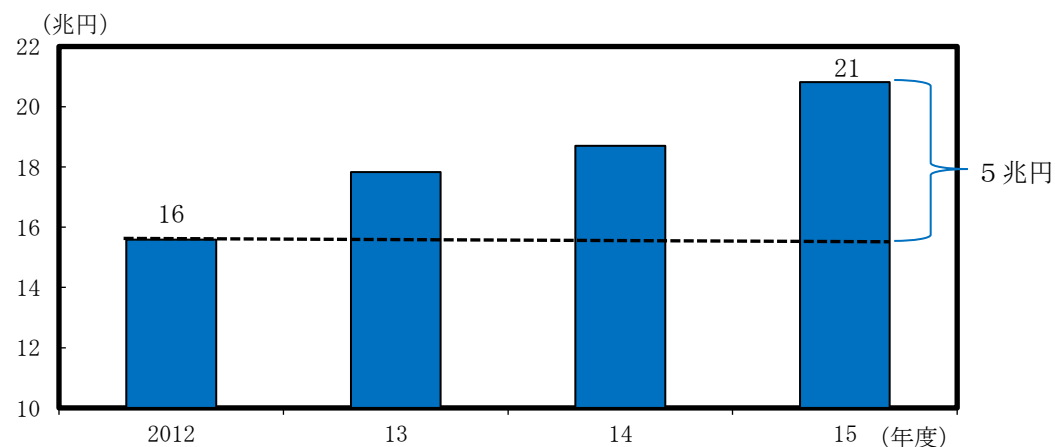
- 中小企業の業況判断はリーマンショック前の水準を超えた。
- 中小企業の倒産件数は2012年度と比べ約3割減少。

- 中小企業の収益は3年間で5兆円増加(1.3倍に)、設備投資も同2.6兆円増加(1.3倍に)。

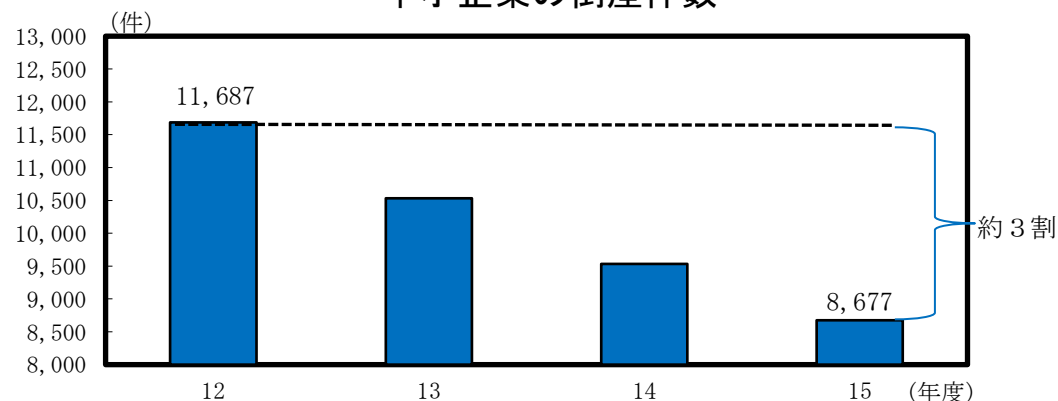
中小企業の業況判断



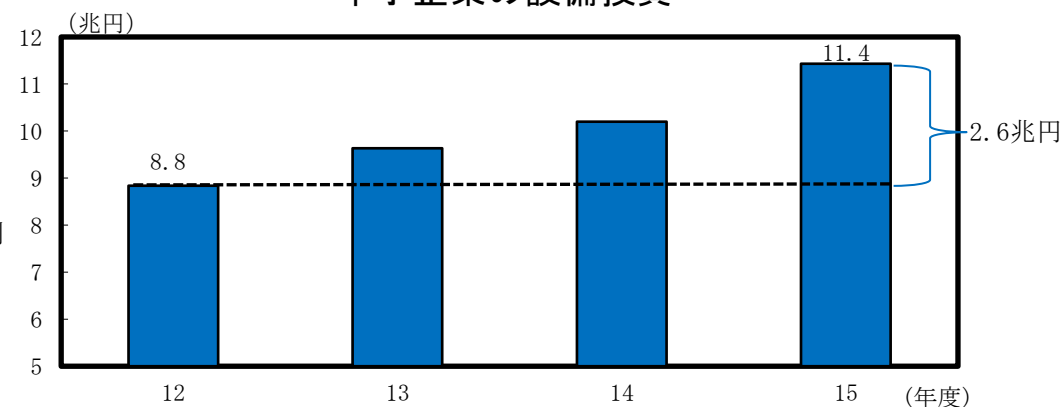
中小企業の収益



中小企業の倒産件数



中小企業の設備投資

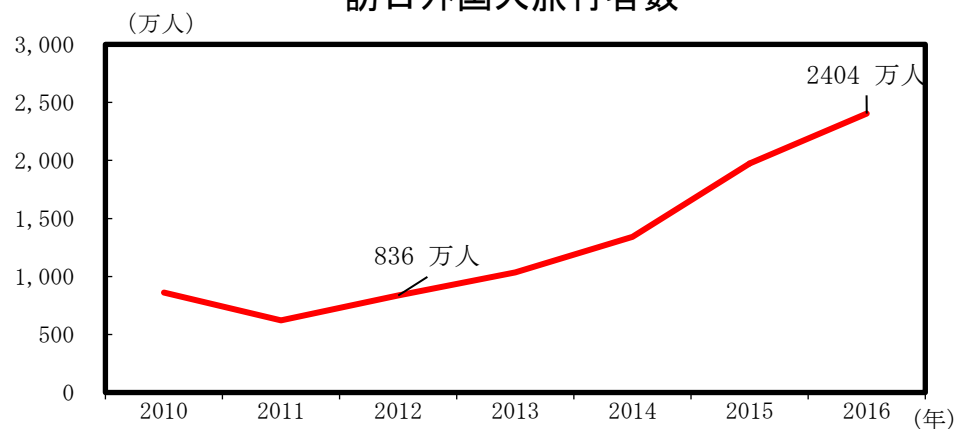


6. 観光

- 訪日外国人旅行者数は過去最高。
- 消費税免税店数は2013年4月と比較し約8倍。

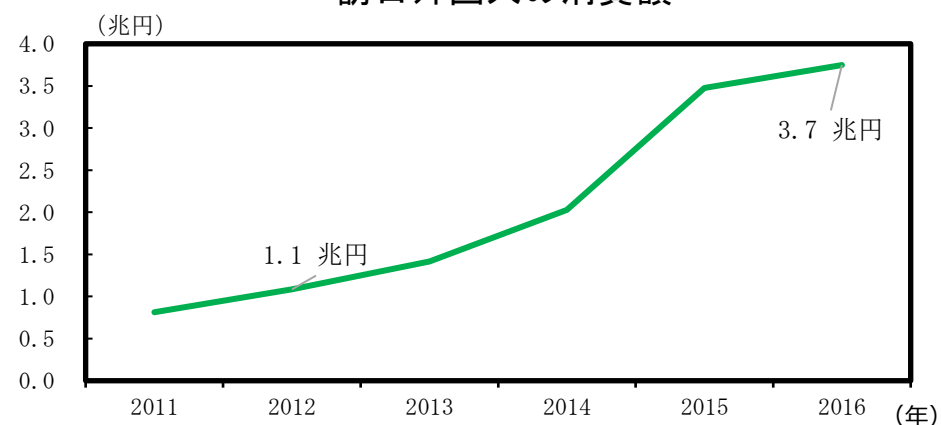
- 訪日外国人の消費額は過去最高。

訪日外国人旅行者数



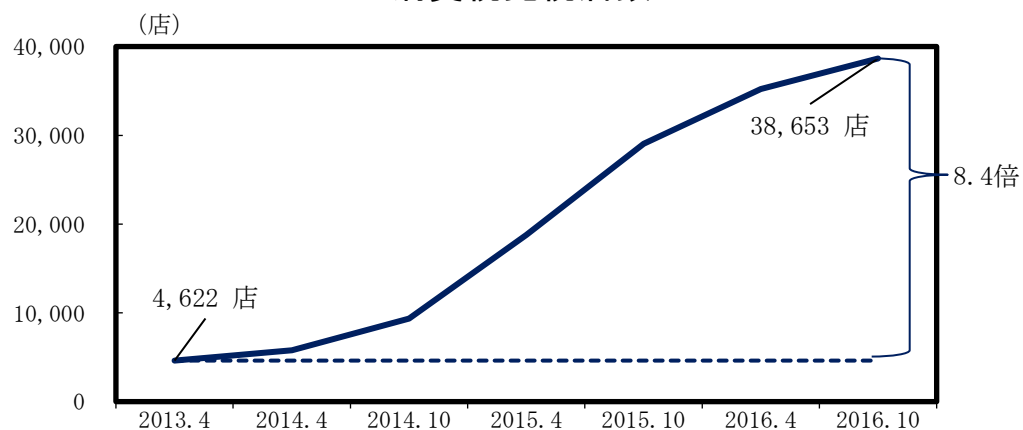
(備考) 日本政府観光局により作成。

訪日外国人の消費額



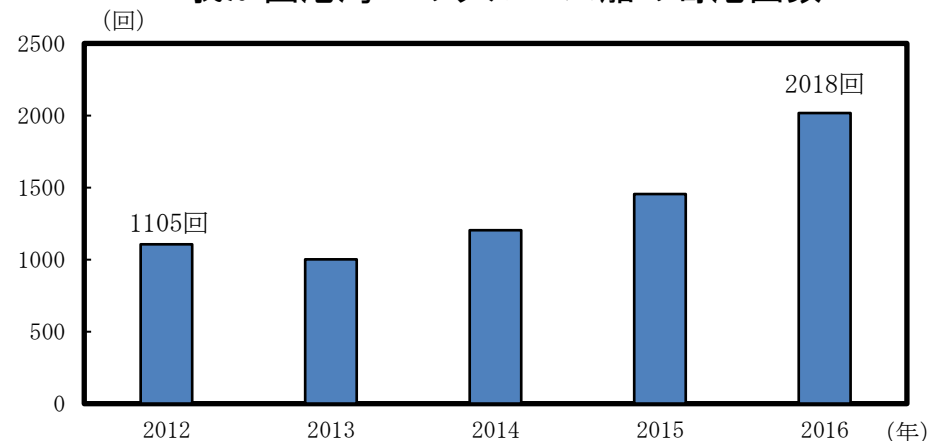
(備考) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」により作成。

消費税免税店数



(備考) 観光庁により作成。

我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数

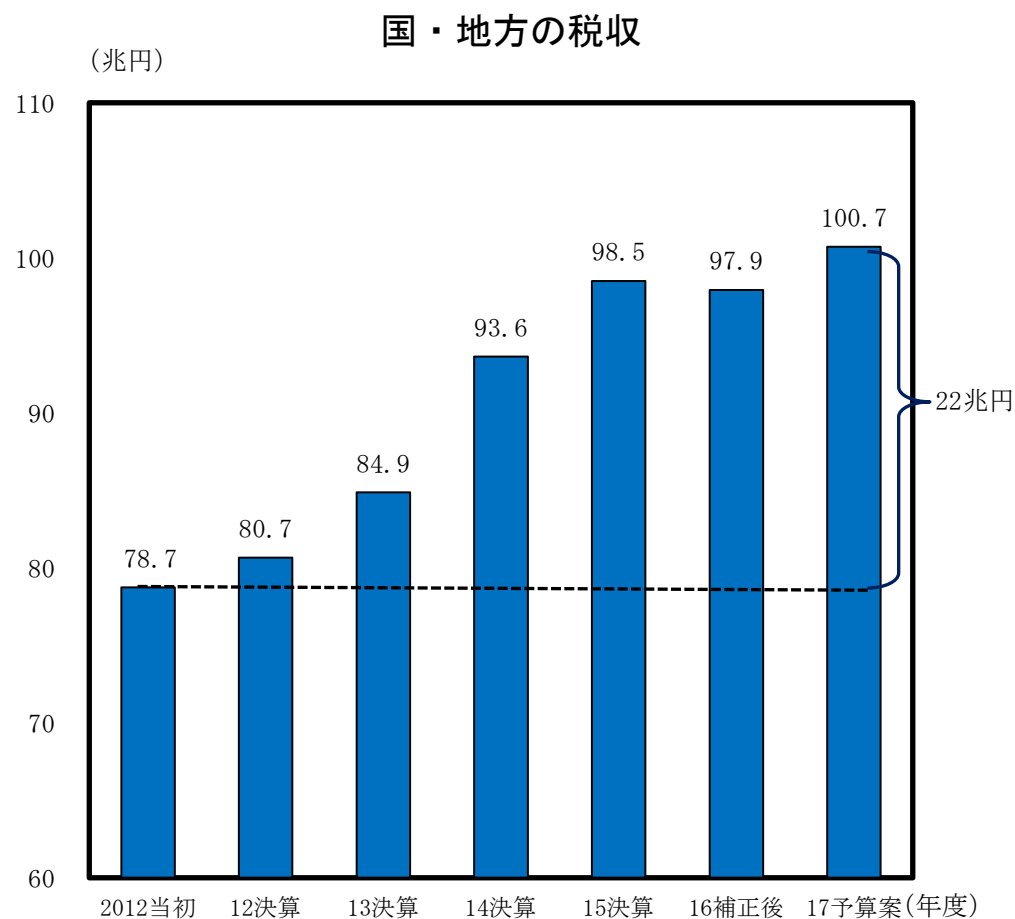


(備考) 国土交通省「2016年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港実績」により作成。

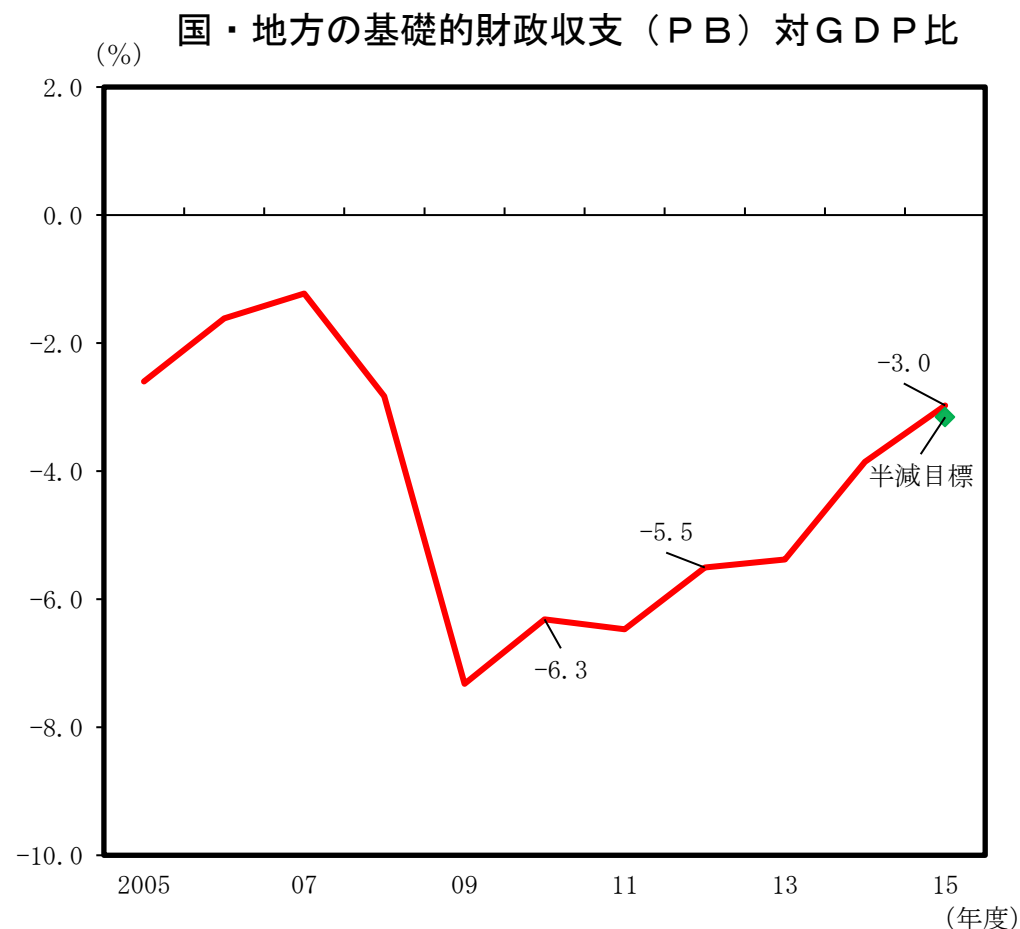
7. 財政健全化

○2017年度の国・地方の税収は、
安倍内閣発足前の2012年度に比べ約22兆円増加。
(消費税率引上げ分を除いても14兆円増加)

○国・地方の基礎的財政収支（P B）対G D P比は、
2015年度のP B赤字対G D P比半減目標（▲3.2%・
2010年度対比）を達成。



(備考) 「国」は一般会計税収、「地方」は地方税(超過課税・法定外税含む)、地方譲与税及び地方法人税の合計。

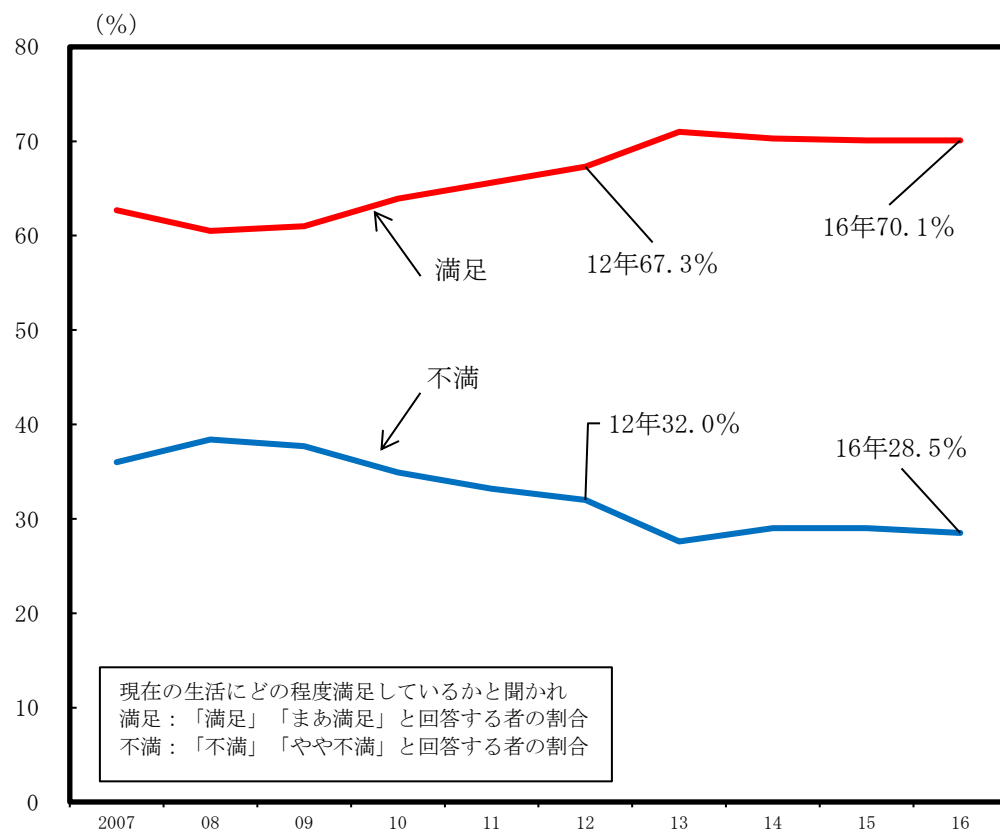


(備考) 内閣府「中長期の経済財政に関する試算」(2017年1月)による。復旧・復興対策の経費及び財源の金額を除いたベース。

8. 生活・就業への満足度

○現在の生活に「満足」と回答する者の割合はこの4年間70%を超える高水準で推移しており、70%を超えるのは1995年以来。他方、「不満」と回答する割合は低下傾向。

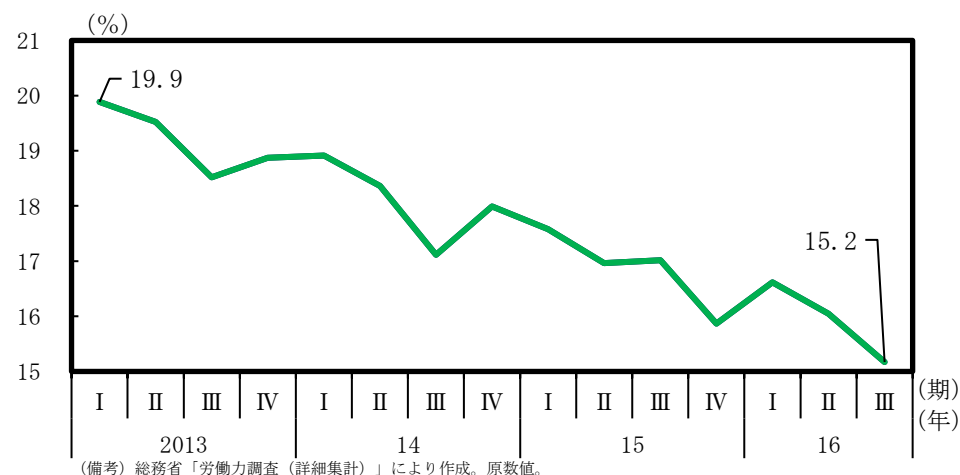
生活に「満足」、「不満」と回答する者の割合



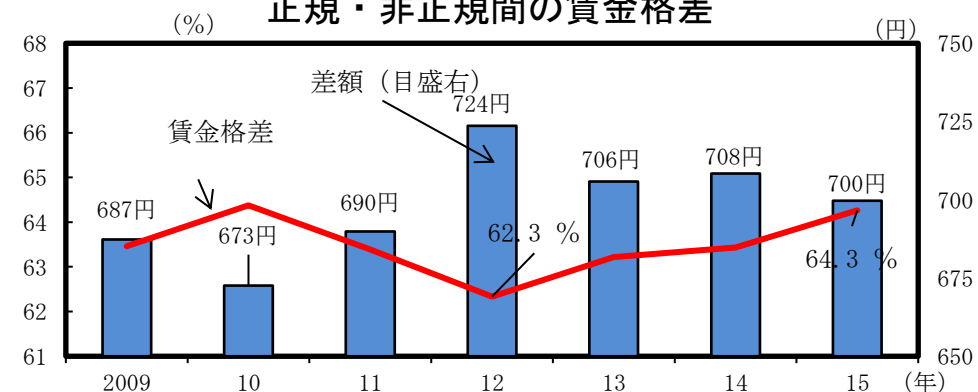
(備考) 内閣府「国民生活に関する世論調査」により作成。

○不本意非正規雇用者比率（正規職を望みながらも非正規の職に就いている雇用者の割合）も、この4年間で、約20%から約15%に減少。
○2013年以降、正規・非正規間の賃金格差は縮小傾向。

不本意非正規雇用者比率



正規・非正規間の賃金格差



(備考) 1. 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」により作成。

2. 正規・非正規の賃金とは、時給をさす。時給は、所定内賃金を所定内労働時間で除すことで算出。いずれも6月の値。

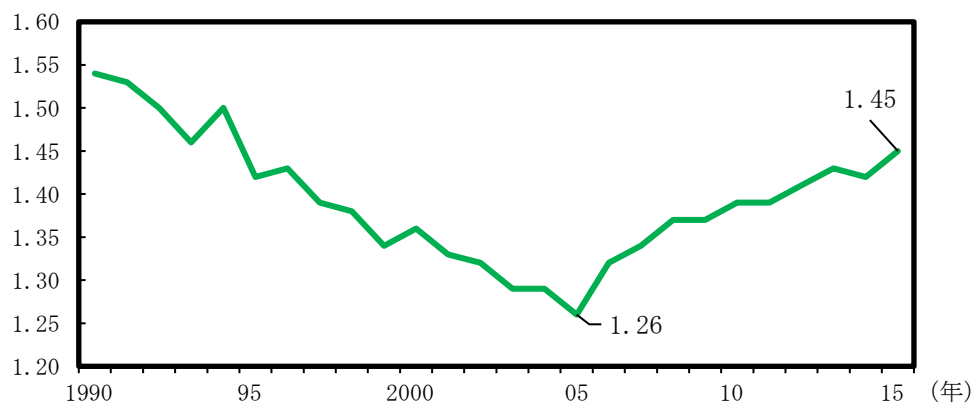
3. 賃金格差は非正規雇用者の時給が正規雇用者の何%であるかを示しているため、上に行くほど格差は縮小している。

9. 少子化・子育て

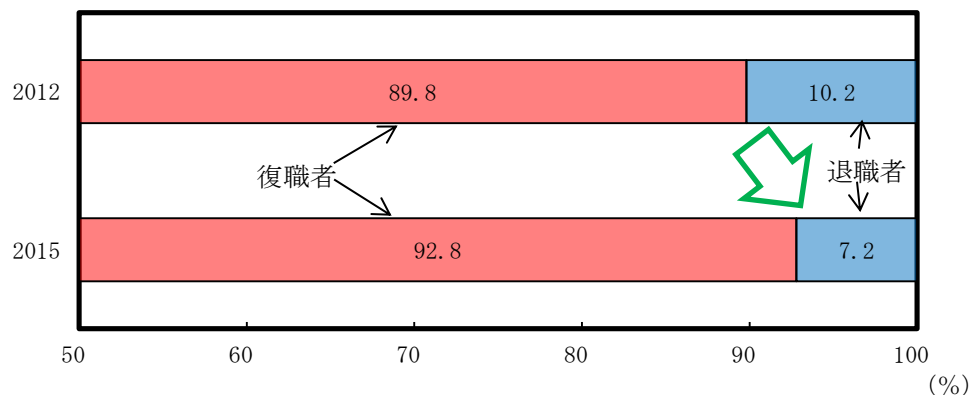
○合計特殊出生率は1.45と、21年ぶりの水準に上昇するなか、育児休業後に復職する女性の割合も上昇。

○2013～2015年度の3年間で約31万人分の保育の受け皿拡大を達成。2017年度までに約50万人分の受け皿の確保に向け取組を進める。
○放課後児童クラブ、放課後子供教室をこの4年間で、8400か所以上拡大。

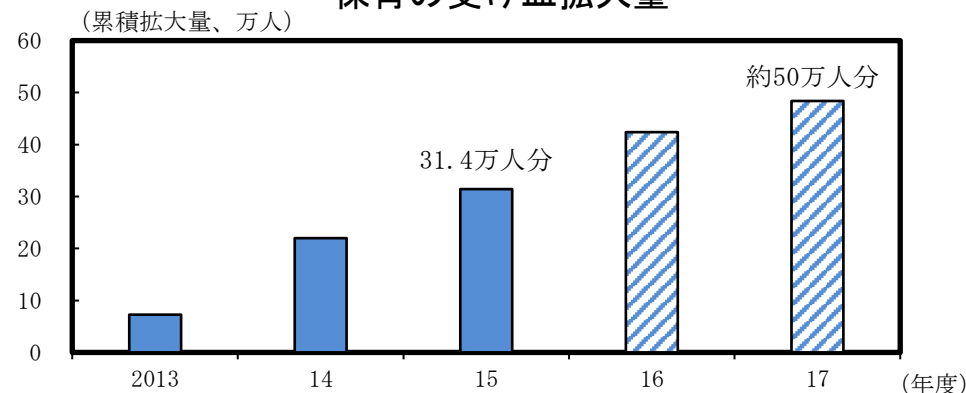
合計特殊出生率



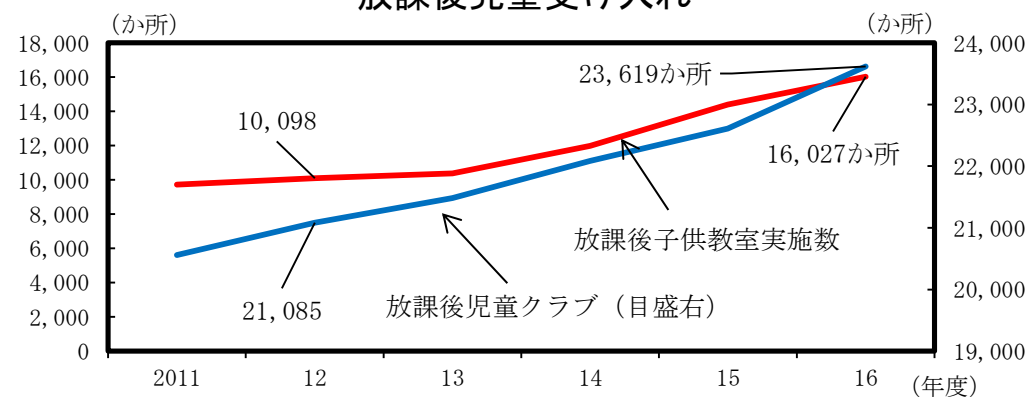
育児休業終了後の女性復職者及び退職者割合の推移



保育の受け皿拡大量



放課後児童受け入れ

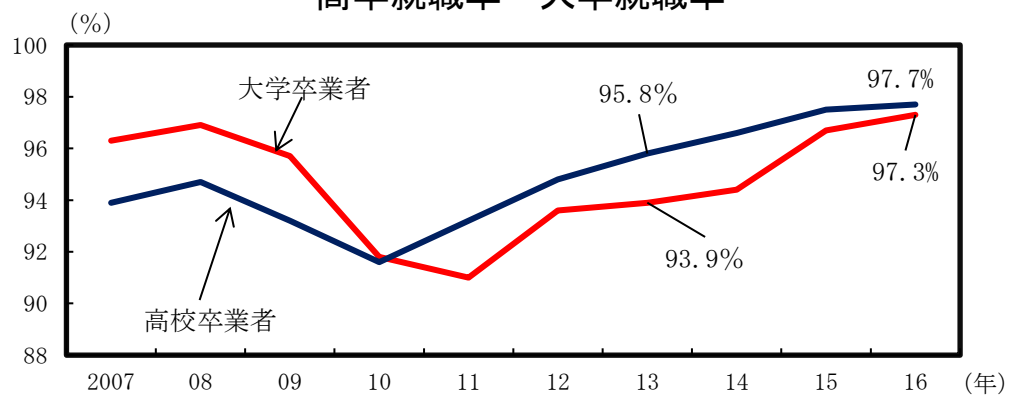


10. 若者の就業

- 高卒の就職(内定)率は1992年以来、24年ぶりの高水準、大卒の就職率は過去最高。
- 若手(49歳以下)の新規就農者数は2007年以来、最多の2.3万人に拡大。

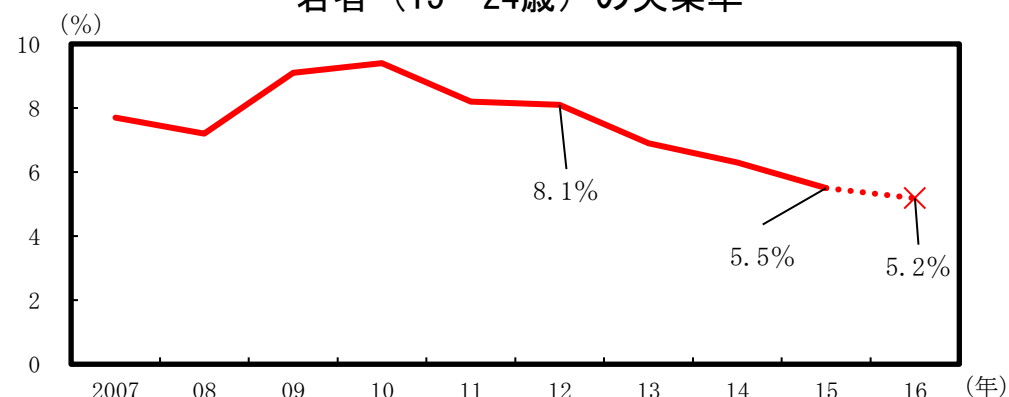
- 若者(15~24歳)の失業率は、この3年間で、8%台から5%台まで低下(1993年以来の低水準)。
- 高卒の新卒給与は過去最高、大卒は2年連続増加。

高卒就職率・大卒就職率



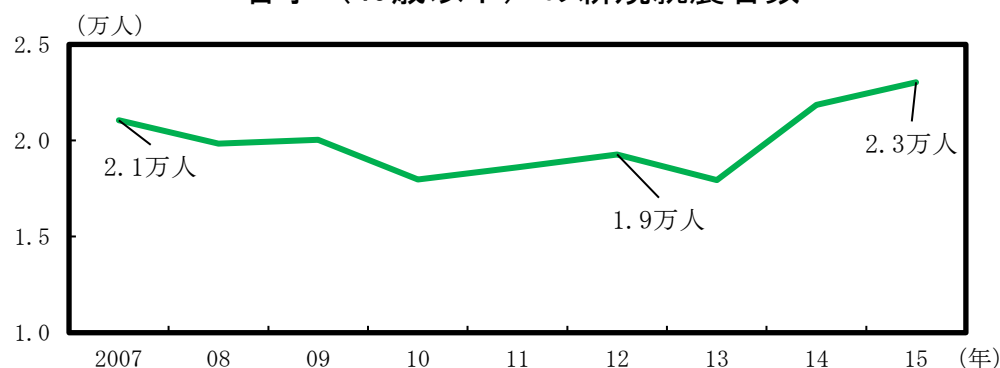
(備考) 1. 厚生労働省、文部科学省「大学等卒業生の就職状況調査」及び文部科学省「高等学校卒業生の就職状況調査」により作成。
2. 各年3月卒業生が対象。就職進学者を含む。
3. ここでの就職率は、就職希望者に占める就職者の割合を示す。

若者(15~24歳)の失業率



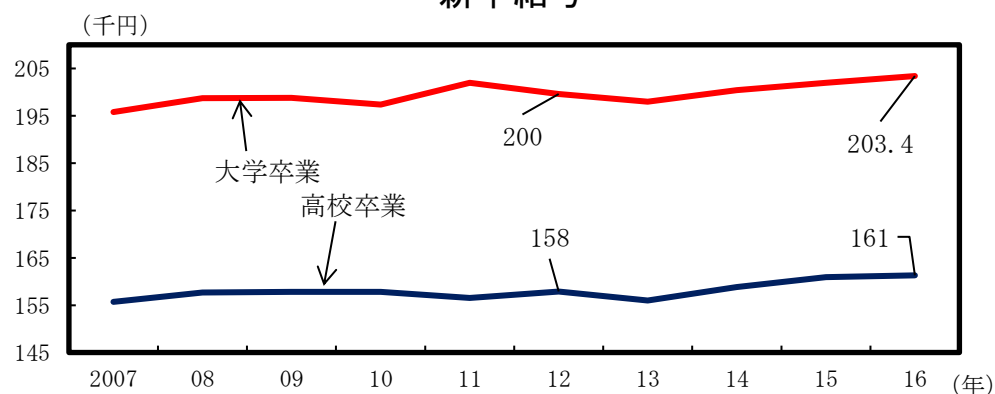
(備考) 1. 総務省「労働力調査」により作成。
2. 2016年については、1月~11月の完全失業率を単純平均して算出した。

若手(49歳以下)の新規就農者数



(備考) 1. 農林水産省「新規就農者調査」により作成。
2. 2015年の値については、第一報
3. 平成26年(2014年)調査より、新規参入者については、従来の「経営の責任者」に加え、新たに「共同経営者」が含まれる。

新卒給与



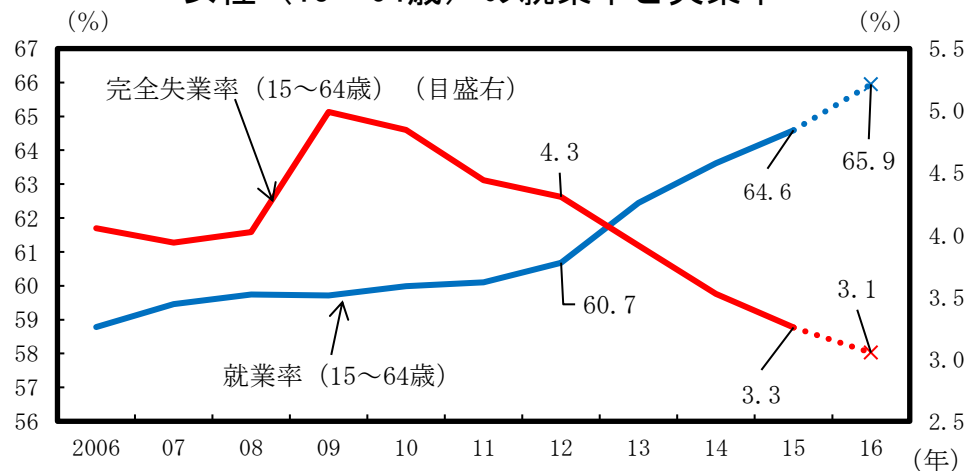
(備考) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査(初任給)」により作成。

11. 女性の就業

- 15～64歳の女性の就業率は過去最高水準。
- 管理職の女性比率は2006年以来、最高。

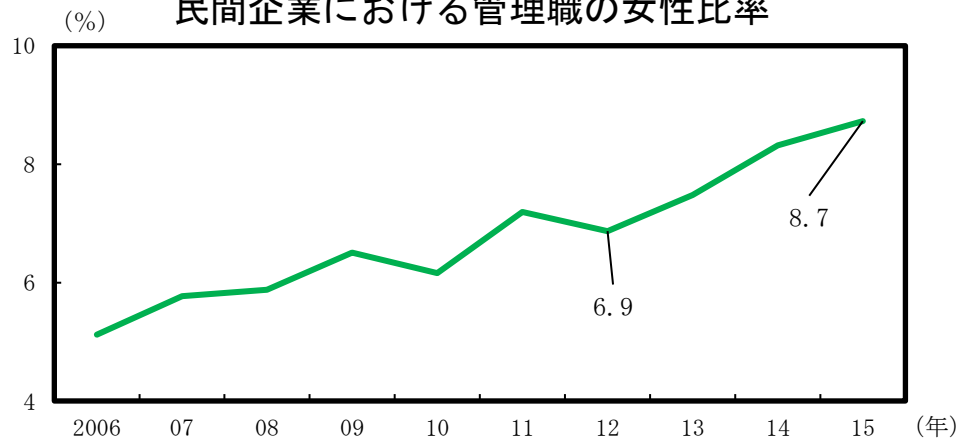
- 女性の労働力率はおおむねどの年齢層でも上昇。
- 25～64歳の年齢階級において、過去最高。

女性（15～64歳）の就業率と失業率



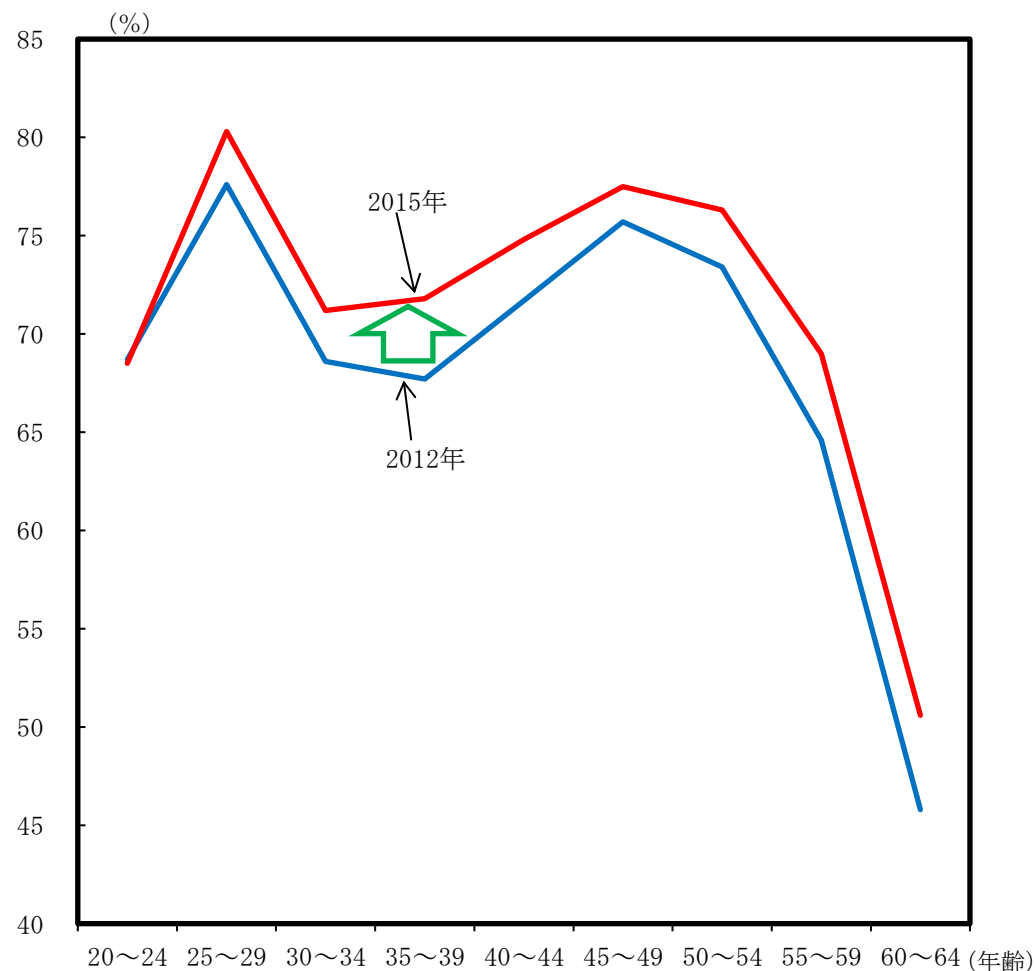
(備考) 1. 総務省「労働力調査」により作成。
2. 2016年については、1～11月の完全失業率を単純平均して算出した。

民間企業における管理職の女性比率



(備考) 1. 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」により作成。
2. 管理職は、課長相当職以上（課長相当職＋部長相当職の値）を指す。

各年齢階級における女性の労働力率

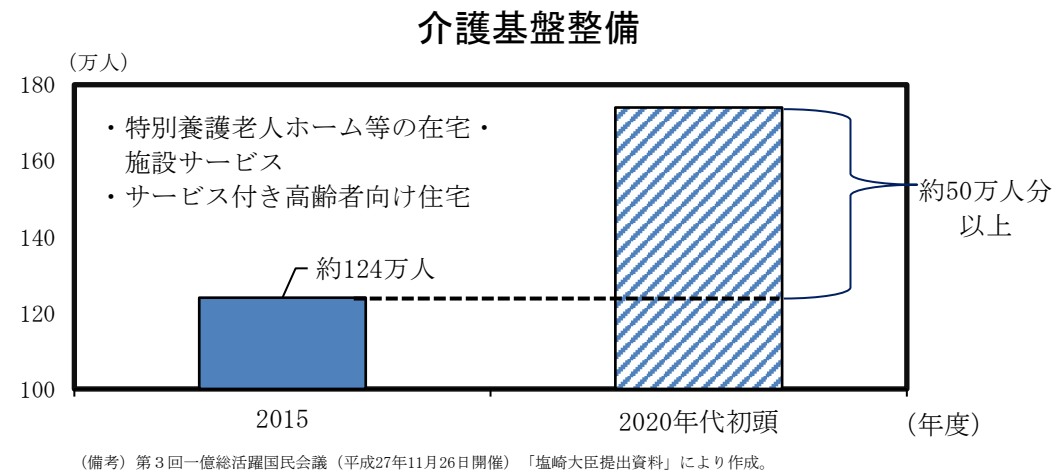
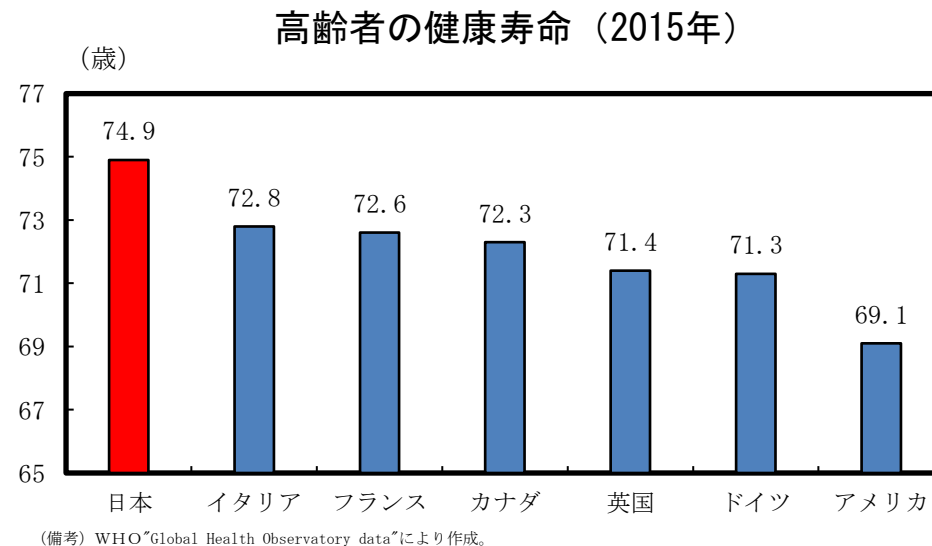
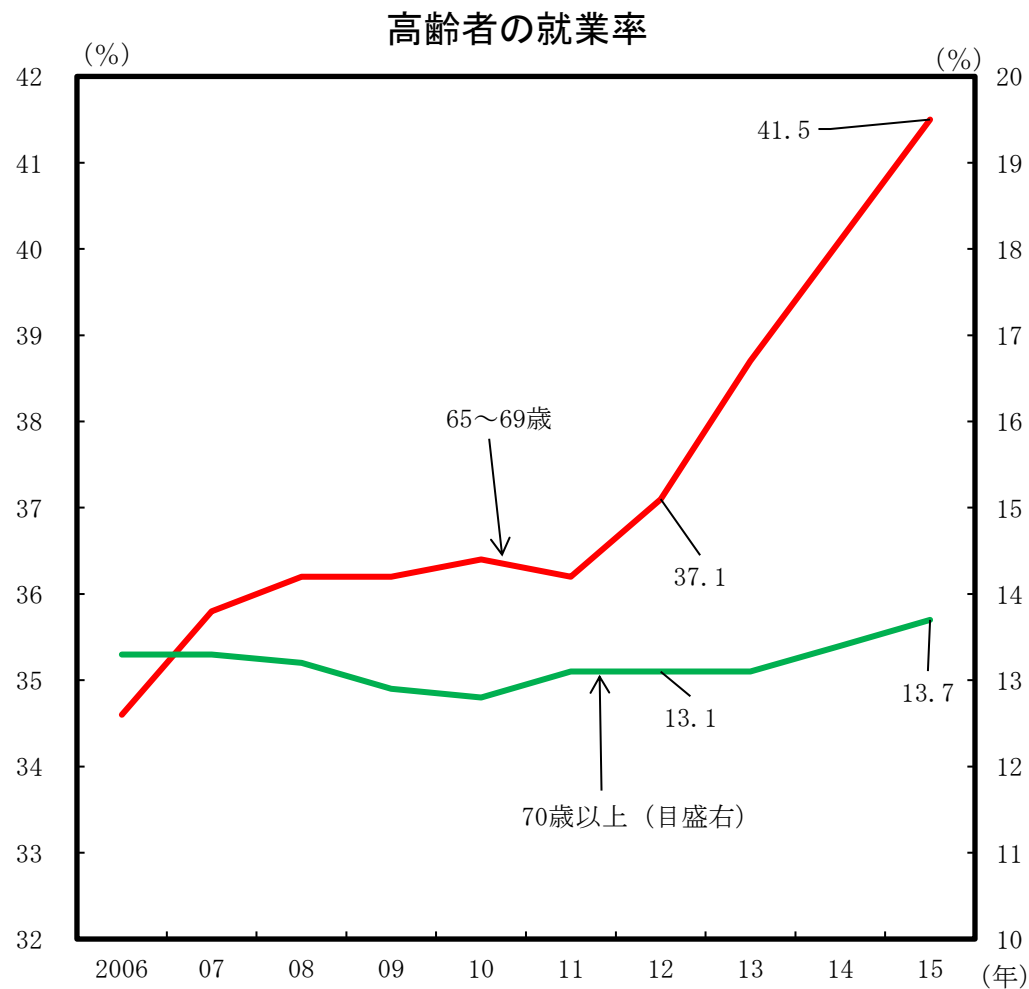


(備考) 総務省「労働力調査」により作成。

12. 高齢者の就業と健康

○高齢者の就業率は上昇。
65～69歳の就業率は、1975年以来の高水準。

○日本の健康寿命は75歳と、世界の中でも最高水準。
○2020年代初頭までに、介護基盤を約50万人分以上整備する。



13. 地域経済

指標	安倍内閣発足前と直近の比較
就業者数	34都府県で増加（3都県で過去最高） (2012年7-9月期→2016年7-9月期)
有効求人倍率 (就業地別)	全都道府県で上昇（28都道府県で過去最高） (2016年4月以降、全都道府県で1倍超え) (2012年12月→2016年12月)
失業者数	全都道府県で減少（15都県で過去最低） (2012年7-9月期→2016年7-9月期)
失業率	全都道府県で低下（13都県で過去最低） (2012年7-9月期→2016年7-9月期)
高等学校卒業者の 就職状況	全都道府県で増加（15都道府県で過去最高） (2012年3月→2016年3月)
1人あたり賃金	34道府県で上昇 (2012年9月→2016年10月)
最低賃金	全都道府県で上昇（全都道府県で過去最高） (2012年度→2016年度)
ベア実施企業の割合	全国11地域の全てで上昇 (2013年度→2016年度)
倒産件数	43都道府県で減少（12道府県で過去最低） (2012年→2016年)

指標	安倍内閣発足前と直近の比較
日銀短観業況判断 D I	全国9地域の全てで改善 (2012年12月→2016年12月)
貸出金 (残高)	46都道府県で増加（21県で過去最高） (2012年12月→2016年12月)
女性の労働力率	全国10地域の全てで上昇（6地域で過去最高） (2012年7-9月期→2016年7-9月期)
保育所等の施設数	45都道府県で増加 (2012年4月→2016年4月)
外国人宿泊者数 (延べ人数)	46都道府県で増加（27道府県で過去最高） (2012年7-9月期→2016年7-9月期)
免税店数	全都道府県で増加 (2013年4月→2016年10月)
都道府県の税収 (当初、地方譲与税 (県分を含む))	全都道府県で増収 うち法人関係税も全都道府県で増収等 (2012年度→2016年度)
ふるさと納税受入件数	全都道府県で増加 2012年度 12万件→2015年度 726万件 2012年度 104億円→2015年度 1,653億円

(備考) 総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」、「毎月勤労統計調査地方調査」、文部科学省「高等学校卒業（予定）者の就職（内定）状況に関する調査」、厚生労働省「地域別最低賃金の全国一覧」、東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」、財務省「財務局調査による『賃金の動向』について」、日本銀行「金融経済統計」、厚生労働省「保育所関連状況とりまとめ」、観光庁「宿泊旅行統計調査」、「免税店（輸出品販売場）の都道府県別分布」、総務省よりデータ提供「都道府県の税収」は地方税と地方譲与税の合計、「法人関係税」は、地方法人2税と地方法人特別譲与税の合計、総務省「ふるさと納税に関する現況調査について」により作成。